

FQA

以下、2022年度秋募集の説明会（2022年8月3日実施）に行われた質疑をもとに、FQAを作成しております。

これ以外に、ご不明な点があれば、info@glafs.u-tokyo.ac.jpまでお尋ねください。

【Q1】 博士進学を希望しているが、修士2年以降に海外留学をした場合、応募資格はあるか？

【A】 東大の博士課程に進学（東大に籍をおいたまま）であれば条件を満たします。

東大の博士に進学せずに他大学に留学する場合は、認められません。

ただし、WINGS卓越RAの経済的支援を受ける条件としては、東大を休学するケース、留学先との協定で休学しないケースなどありますが、休学中は受給できません。復学後に受給再開となります。

【Q2】 2022年10月入学の場合の経済的援助の開始時期は2023年10月からでしょうか？

【A】 2022年10月入学の場合、経済的支援の開始は、1年後に修士2年に進学する2023年10月から開始となります。

2022年4月入学の場合は、半年後の2023年4月から支給開始となります。

【Q3】 選抜時の判断基準は？

【A】 提出された申請書と面接から、ご本人の資質の高さを複数の教員で総合的に判断します。

ご本人の研究と高齢社会との関係性が必ずしも重視されるわけではありません。高齢社会と全く関係ないような研究でも、どこかでこの世界共通の基盤的課題とつながっていると思いますので、一見全く関係ないような研究をおやりになっても、高齢社会に興味があり、研究遂行能力が高ければ、高く評価されます。

【Q4】 応募倍率はどのくらいですか？

【A】 昨年度は3倍程度でした。

【Q5】 プログラムへの応募時点で、他の奨励金を受給している場合、応募は可能か？

【A】 修士1年の応募時点で、他の奨励金を受給している場合でも、応募は可能ですし、修士2年から本プログラムの卓越RAを受給することは可能です。ただし、他の奨学金等との重複受給となる場合は、支給額の制限がある場合がありますのでGLAFSホームページの卓越RA募集要項をご確認ください。